

Ⅲ 松くい虫被害対策事業に関する調査

(実施期間：昭和52年度～ 予算区分：県単 担当：西信介 業務報告：三浦功次)

1 目的

県内で実施されている当該事業に関連して、防除（薬剤予防散布）適期及び防除効果を検討するための情報を提供することを目的とし、マツノマダラカミキリの脱出時期及び防除実施箇所の被害状況を調査する。

2 実施概要

2.1 マツノマダラカミキリ脱出時期の推定

令和元年11～12月に鳥取市気高町地内等で当年夏～秋に枯死したクロマツを伐採し、1.2m程度の丸太に玉切りして林業試験場構内（標高：30m、100m）と八頭町才代地内（標高：300m）の網室に搬入し（写真）、令和2年5月22日から8月31日まで丸太から羽化脱出したマツノマダラカミキリ成虫数を調査した。その脱出した成虫数から5%、50%、95%脱出日を推定した。



写真 林業試験場構内の網室

2.2 防除実施箇所の被害状況

北栄町松神及び鳥取市賀露に設定した固定試験地において、令和2年冬に被害状況の調査を行った。両試験地は、薬剤の予防散布と被害木の伐倒駆除を継続して実施している。

3 結果

3.1 マツノマダラカミキリ脱出時期の推定

令和2年度のマツノマダラカミキリの脱出推定時期を表1に示す。全ての段階で平年より4～13日脱出が遅かった。

表1 林業試験場構内と八頭町才代におけるマツノマダラカミキリの脱出推定日

羽化脱出状況	標高 30m	標高 100m	標高 300m
5%脱出日	6月7日(+5)	6月14日(+5)	6月13日(+4)
50%脱出日	6月28日(+9)	7月5日(+8)	7月5日(+8)
95%脱出日	7月18日(+10)	7月27日(+13)	7月26日(+10)

※()は平年値（2001～2019年の平均値）との差

3.2 防除実施箇所の被害状況

北栄町松神及び鳥取市賀露調査地の被害状況を表2に示す。被害本数は昨年度に比較して増加した。

表2 北栄町松神及び鳥取市賀露調査地における松くい虫被害状況

調査地	調査対象木	面積	林齢	被害本数	被害率
北栄町松神	912本	0.76 ha	61年	42本(+31)	約5%
鳥取市賀露	429本	1.00 ha	66年	12本(+11)	約3%

※()は昨年度との差